

大島小 学校だより



# 島っ子だより

第7号 令和元年5月21日

文責 校長 藤瀬 安孝

## こんな子どもに ～目指す児童像～

### ② 声の大きさがコントロールできる子ども（あいさつ・表現・休み時間）



毎朝、登校班で自力登校をがんばる大島小の子どもたちです。校門前の信号機付き横断歩道の前で、子どもたちを迎える私に、50m以上離れたところから「おはようございます」の第一声が聞こえてきて、元気をもらっています。

本校四つのめざす児童像の二つ目は「声の大きさがコントロールできる子ども」です。

あいさつをしたり、発表をしたりするときに、相手にしっかり届く大きさを声を出すこと。室内で過ごす際に、休み時間であっても迷惑にならない大きさに話し声をセーブすること。これらはどちらも同じように大切で、その両立ができることで、秩序と活気のある学校が実現されます。

元気な子、おとなしめの子。一人一人の性格は違って当然ですが、誰もが場に応じてボリューム調整が意識できる。そのような子を育てていきたいと考えています。

日頃元気な子でも、公共の場やきちんとすべき場で自分の声の大きさに気を付けようとする。学校外でも実践の場は少なくありません。気になる場面があれば、保護者や地域の皆さんにも、同じ方向でお声かけいただけるとありがたいです。



## 交通安全教室 ありがとうございました



先週の5月17日（金）に、平戸警察署と大島駐在所の警察官や交通指導員の方においていただき、交通安全教室を行いました。

交通ルールについての話を聞いたり、下校しながら実地で正しい歩き方を確かめたりしながら学習しました。

大島は車の行き来は少ない場所ですが、油断してしまうと事故につながることは変わりありません。島外に出たときにも、自分の命を

自分で守ることができるようにこの教室を通じて学んでくれたらと願っています。

※日頃から登下校を見守ってくださる皆様。いつもありがとうございます。